



病院理念

『より質の高い 心あたたまる医療の実現』

基本方針

1. 患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに安全で良質な医療をめざします。
2. 地域の基幹病院として医療機関との連携を促進し、地域医療の向上に努め、地域住民の健康維持に貢献します。
3. 救急医療と小児医療及び周産期医療の充実を図り、地域住民が安心できる医療を提供します。
4. 自治体病院として公共性を保ち、効率的な病院経営に努めます。
5. 職員は専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽して知識と技術の向上に励み、チーム医療を推進します。
6. 働きがいのある職場として環境を整備し、明るい病院づくりをめざします。

院内広報誌『ふれあい』

患者様ならびにご家族の方々に病院をよく知っていただき職員と患者様の交流の場となる誌面をめざしています。

千歳市北光2丁目1番1号
市立千歳市民病院
編集長 大田 光仁
事務局 総務課総務係
0123-24-3000(内線 232)

片頭痛と閃輝暗点

脳神経外科 松本亮司

芥川龍之介の遺稿である短編小説「歯車」の一節です。

「のみならず僕の視野のうちに妙なものを見つけ出した。妙なものを？——と云うのは絶えずまわっている半透明の歯車だった。僕はこう云う経験を前にも何度か持ち合わせていた。歯車は次第に数を殖やし、半ば僕の視野を塞いでしまう、が、それも長いことではない、暫らくの後には消え失せる代わりに今度は頭痛を感じはじめる、——それはいつも同じことだった。眼科の医者はこの錯覚(?)の為に度々僕に節煙を命じた。しかしこう云う歯車は僕の煙草に親しまない二十前にも見えないことはなかった。僕は又はじまったなと思い、左の目の視力をためす為に片手に右の目を塞いで見た。左の目は果して何ともなかった。しかし右の目の眶の裏には歯車が幾つもまわっていた。僕は右側のビルディングの次第に消えてしまうのを見ながら、せっせと往来を歩いて行った。」

(芥川龍之介著 河童・或阿呆の一生 新潮文庫より)

この頭痛は片頭痛(migraine)で、頭痛の前兆は閃輝暗点(scintillating scotoma)と呼ばれる症状です。

片頭痛は拍動性の頭痛で、吐き気や嘔吐を伴うことが多く、寝込むこともあります。4から72時間、平均すると半日前後続きます。こうした頭痛が月に数回起きることがあります。頭痛が起きているときは、音や光に敏感になり、階段の昇り降りや運動、頭を振ったりすると痛みが悪化します。

成人の約1割弱(8%)が片頭痛持ちで、本邦では約840万人いるとされています。女性が男性の4倍で、思春期ごろから多くなり、30歳代が最盛期で60歳ころには減少します。

片頭痛の5人に1人位に前兆が現れます。突然、視野の中にギザギザの閃光が現れ、だんだん広がっていきます。これが閃輝暗点です。ギザギザの形は様々ですが、中世の城郭に似ていることから **fortification spectrum** (城郭様スペクトラム) ともいわれます。20~30分するとギザギザは消えていきますが、それと同時にズキンズキンという拍動性の頭痛が始まります。閃輝暗点のみで、頭痛が起きないこともあります。

1941年に Lashley の論文に書かれた閃輝暗点の図です。×は固視点で数字が時間(単位は分)です。閃輝暗点が中心から外側に広がっていきます。



閃輝暗点の図 (Lashley KS, Arch Neuro Psychiatry 1941;42:259-264)

片頭痛の原因は未だ不明ですが、最近では何らかの刺激が脳硬膜周囲の三叉神経に作用し、神経終末から血管作動性の神経ペプチドが放出され、脳血管の拡張と炎症が惹起されることにより起こると考えられています。(三叉神経血管説)

片頭痛の誘因としては、ストレスや環境の変化、天候あるいは食べ物・アルコールや睡眠などが関係することがわかっています。ニトログリセリンなどの薬にも誘発されます。喫煙や煙草の煙や臭いも誘因となるようです。女性の場合は生理周期に連動します。

片頭痛の治療は以前には血管の拡張を抑制するエルゴタミン製剤が使われていましたが、現在では血管のセロトニン受容体に作用するトリプタン系薬剤が複数開発され、治療は大きく進歩しております。

「歯車」の僕は芥川龍之介自身であり、龍之介は片頭痛に悩まされていたと考えられています。「歯車」を書いた3ヶ月後の昭和2年7月24日、龍之介は「ただぼんやりした不安」という遺書を残し、35歳で服毒自殺をしてしまいます。自殺と片頭痛の関連は不明ですが、その当時トリプタン系薬剤があれば、芥川龍之介はもっと長く文壇で活躍したかもしれません。



健診センターご案内について

健診センターってどんなことをしているの？と疑問に思っていることも多くいらっしゃると思います。

健診センターでは、病気の早期発見・早期治療のために、様々な検診業務を実施しています。

健診センターでは、生活習慣病予防健診や企業健診を中心に、各種の検診業務を行っています。「がん」、「心臓病」、「脳卒中」は3大生活習慣病といわれ、日本人の死亡原因の約6割を占めています。症状が現れた時には、既に治療が難しくなっていることもめずらしくありません。健康は、なにものにも代えがたい財産です。自分の健康状態について正確な知識を持ち、健康管理を続けるために健診を上手に役立ててください。一年に一回は定期的に健診を受け、早期発見・早期治療に心掛けましょう。

当センターの健診は、すべて予約制となっております。

健診の種類

1 人間ドック

身体計測、視力、血液検査、尿検査、便潜血検査、血圧測定、心電図、肺機能検査、腹部エコー検査、眼底検査、胃部検査、聴力検査、胸部レントゲンなどを実施します。人間ドック・成人病・定期A・定期B・定期Cの5つのコース選択があり、それぞれのコースによって健診内容・料金が異なります。人間ドック・成人病コースには胃部検査（胃バリウム）がありますが、ご希望があれば胃カメラに変更することも可能です（人数制限・追加料金あり）。

健診日 : 月曜日～金曜日 午前 ※木曜日は女性専用となっております。

コース内容や料金等は、直接健診センターまでお問い合わせください。

有料オプション検診

人間ドックの際には、併せて次のオプションを選択することができます。

また、単独の検診として受診することもできます。

子宮がん検診

産婦人科医によって、子宮頸部の表面粘膜を専用のへらでこすって細胞を採取し、顕微鏡で観察します。がん細胞が見つかる前に、正常でない細胞が見つかることがあるため、細胞診を行うことでがんになる前の段階から診断することが出来、子宮頸がん早期発見の手がかりとなります。

1年に1回は、子宮がん検診を受けることをお勧めします。

※出血・おりものの異常など自覚症状がある方は、検診ではなく産婦人科外来を受診してください。

健診日 : 月曜日～金曜日 午前

料金 : 頸部 5,270円

乳がん検診

乳腺の状態を調べることは、乳がんの早期発見の手がかりとなります。早期に発見した乳がんは、治療により高い確率で回復に向かいます。

当センターの乳がん検診では、放射線リスクを半減し乳房を広範囲・高精度に画像化する最新鋭のマンモグラフィ（乳房撮影専用 X 線診断装置）を取り入れ、乳がんの早期発見に取り組んでいます。X線による被曝の心配があるかもしれませんが、自然の中で浴びる放射線量と同程度なので、健康に重大な影響を及ぼす心配は無いといわれています。

マンモグラフィとは、乳房をプラスチックの板で挟んで平たくして撮影する、乳腺専用のX線装置です。

当センターでは、触診のみの乳がん検診もお受けしておりますが、できるだけマンモグラフィも受けられることをお勧めします。その理由として、しこりのすべてが乳がんではありませんが、しこりが乳がんであった場合、ある程度の大きさにならないと触診だけでは発見できない可能性があるためです。

※しこり・異常な分泌物・痛みなどの自覚症状がある方は、検診ではなく外科外来を受診してください。

健診日 : 月曜日～金曜日

料金 : マンモグラフィ + 触診 7,180円 、 触診のみ 2,300円

2 脳ドック (MRI + MRA)

脳卒中の死亡率は減少していますが、有病率は増加しています。不規則な生活、肥満、喫煙、ストレス、お酒の飲みすぎ、加齢による脳の病気は、知らないうちに進行します。

検査日 : 月曜日～金曜日

結果説明 : 月曜日・金曜日 13:00～14:30

料金 : 21,270円 (一般健診と併施)
31,127円 (単独)

人数制限 : 午前・午後 各 1名

※症状がある方、以前脳ドック等で脳血管疾患を診断されている方はドック対象となりません。その際は脳ドックではなく、脳神経外科外来を受診してください。

3 心臓ドック

日本の死亡原因の第2位は狭心症や心筋梗塞をはじめとする心疾患です。心疾患は働き盛りの年代に起きやすい重篤な病気です。特に心筋梗塞は、前兆がないまま突然の胸部痛に襲われ治療には緊急を要します。心疾患では動脈硬化が大きく影響しています。症状がなくても知らないうちに体の中で血管の異常が起こっていることがあり、一般の健康診断では見つけられない血管の異常を早期に発見し、予防につなげます。

検査日 : 不定期のため、お問い合わせください。

料金 : 25,310 円 (一般健診と併施)

35,130 円 (単独)

人数制限 : 午前・午後 各 1 名

※検査の 2 週間前までに申込みが必要です。

4 骨密度測定検査 (DEXA 法)

骨はタンパク質とカルシウム・リンなどのミネラルから出来ており、これを骨塩と呼びます。この骨塩量 (骨密度) が減ると骨折しやすくなります。

当院では DEXA 法 (二重エネルギー X 線吸収法) を用いて、わずかな時間で骨塩量を簡単に測定することができます。測定結果は後日郵送にてお知らせします。

検診日 : 月曜日～金曜日 13:00 開始

料金 : 3,110 円

人数制限 : 1 日 3 名

5 特定健康診査

企業健診者及び国民健康保険加入者の 40 歳～74 歳の方に対し、特定健康診査を実施しています。現在加入されている医療保険者から送付される通知や受診券に従って健診を受けることとなりますが、健診場所や時期、受診料などの詳細は御加入の医療保険者へお問合せください。

予約方法

予約の受付は、月曜日から金曜日の 9:00 から 17:00 までとなっています。

※3 日前 (土曜日・日曜日・祝日を除く) までにお申込みください。ただし、予約状況によりお申し込みできない場合がありますので御了承ください

個人で健診を希望される方は、必ず事前に電話又は御来院の上、予約してください。



健診当日の御案内

受付時間内に、直接 2 階健診センター受付までお越しください。

受付時間 8:00 ~ 8:30

※検査内容により、受付時間が異なる場合がありますので、事前にお渡しする「健康診断・人間ドックの御案内」で御確認ください

[更衣について]

健診センター内更衣室にて検査着に着替えていただきます。

その他

千歳市民の方を対象とした乳・子宮がん検診、骨密度検査、脳ドックの助成制度があります。

詳しい内容については、千歳市保健センターに御確認ください。

年度末は混み合いますので、お早めに御受診ください。就職、進学など各種資格試験用の健康診断も予約が必要です。

[助成制度のお問合せ先]

千歳市保健センター 健康指導課 TEL:0123-24-0364

お問合せ

御不明の点などございましたら、遠慮なくお問合せください。

市立千歳市民病院 健診センター

TEL:0123-24-3000 内線 270

編集後記

ふれあいがついに50号の発行となりました。
次は100号を目指して頑張っていきたいと思います。

放射線科 柴田

患者様の権利と責任

当院では、患者様の人権を尊重し、患者様と医療従事者が信頼と協力のもと、より質の高い心あたたまる医療を実現するため、『患者様の権利と責任』を定めています。

1 医療を受ける権利

どなたでも公平に、安全で適切な医療を継続して受けることができます。

2 知る権利

ご自分の病状や検査、治療について、理解し納得できるまで十分な説明を受けることができます。また、ご自分の診療録(カルテ)の開示を求めることができます。

3 自分で決定する権利

十分な情報提供を受けたうえで、ご自分の意思により検査や治療に対する同意や選択、拒否を決定することができます。

また、他院の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求めることができます。

4 プライバシーの権利

診療の過程で得られた個人情報や病院内での私的なプライバシーが保護されます。

5 参加と協力の責任

これらの権利を守るため、患者様には医療従事者とともに医療に参加し、協力することが求められます。

- ① 現在の病状や過去の治療歴について、できるだけ正確に教えてください。
- ② 検査や治療は、必要性和安全性を十分理解したうえで受けてください。
- ③ 他の患者様の権利を尊重し、職員の業務に支障をきたさないよう、病院内のルール・マナーを守ってください。
- ④ 医療費の請求を受けた時は、速やかにお支払いください。
- ⑤ 臨床研究や医療従事者の教育にご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成 22 年 4 月 1 日
市立千歳市民病院 院長

『患者様の権利と責任』について、何かご意見がありましたら承りますので、ご遠慮なく医師、看護師、その他の職員もしくは【患者様相談窓口：1階医事カウンター①番窓口】までお知らせください。

患者様からいただきましたご意見を尊重し、日常の診療の改善に役立てたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。